

28P-am473

21 世紀になって医薬品広告に登場したキャラクターグッズ

○五位野 政彦¹(¹東京海道病院 薬)

【はじめに】 21 世紀に入って登場した医薬品広告宣伝に使用されているキャラクターについて事例を交えて報告する。

【医薬品宣伝広告とキャラクター】 戦後、日本の医薬品販売における宣伝、広告には他業種同様の女優、スポーツ選手などのほかに、製薬会社・医薬品販売会社(以下医薬品企業)独自のキャラクター(カエル、ゾウ、ウサギ等)やが登場してきた。

21 世紀に入り、特に医療用医薬品の宣伝に医薬品企業独自のものではない、一般にも知名度の高いキャラクターが使用されるケースが見られるようになった。

【人気キャラクター使用の背景】 医薬品の宣伝には健康や安心、希望を感じさせる要素が必要であろう。下記のキャラクターにはこの要素に合致するケースもあると思われる。

また医薬品企業にとっての顧客(医療現場の第一線で活躍する薬剤師、医師、看護師等)に、今世紀に入りアニメ・コミックで育った世代(男女ともに)が多くなっていることも広告宣伝にキャラクターが散見される要因の一つであると思われる。

【使用例】:

サノフィ・アベンティス:アレグラ(抗アレルギー剤):ハクション大魔王(アニメ)

エーザイ:パリエット(消化性潰瘍治療剤):鉄腕アトム(漫画, アニメ)

大塚:エビリファイ(抗精神病剤):シナモロール(サンリオ)

ヤンセン:リスパダール液(抗精神病剤):ハローキティ(サンリオ)

大正富山:抗生物質一般:けろけろけろっぴ(サンリオ)

万有:眼科製剤一般:目玉おやじ(漫画, アニメ)

第一三共:ユリーフ(前立腺肥大症治療薬):リラックマ(サンエックス)

他:ポシュロム:コンタクトレンズ:ハローキティ(サンリオ)